

教育研究組織：◎

適用	記述に係る主要点検・評価項目
大学・学部	A群：当該大学の学部・学科・大学院研究科・研究所などの組織の教育研究組織としての適切性、妥当性

「高い専門性と総合性の融合」を実現するための教育研究組織の確立を目標としている。

大規模でありながら高い専門性を実現するため、専門領域に応じて学部生は美術学部8学科（八王子キャンパス）、造形表現学部3学科（上野毛キャンパス）に所属する。これにより領域に応じた高い専門性を少人数教育で学ぶことが出来る（表Ⅱ-二-1・2参照）。

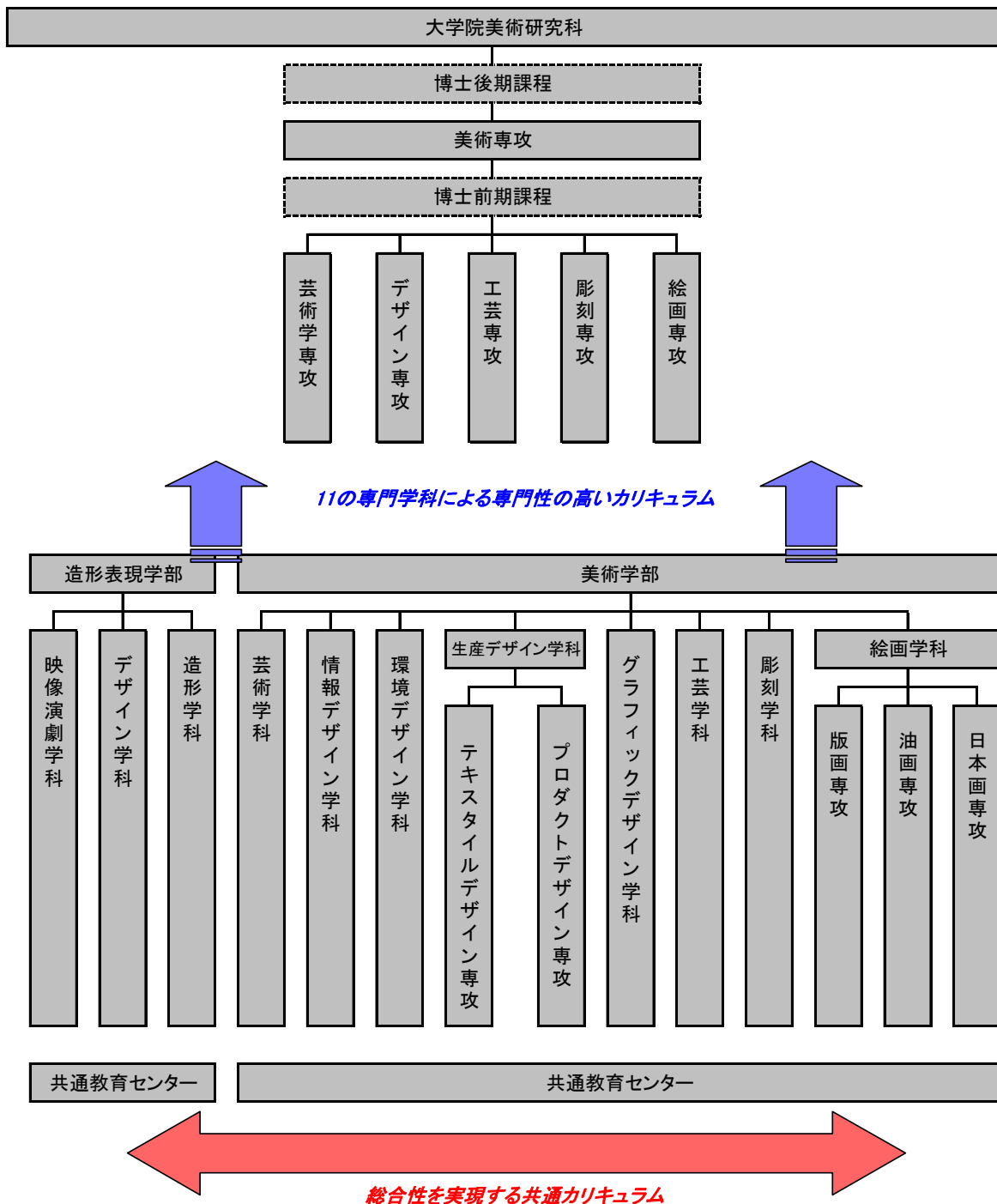
また、大学院美術研究科博士前期課程（修士）までの教育を一貫して学科等で担当する。大学院美術研究科博士後期課程（博士）については、独立した専攻により組織される（Ⅱ-三. 課程の教育内容・方法等 P.34-36参照）。

学科等において伝統的な分野から最先端の分野までをカバーする最新の美術動向をとりあげ、その問題点や今後の進むべき方向を探求する創作活動を行う。

次に総合性を実現するために、全学生を対象とする横断的な共通教育カリキュラムを編成する共通教育センターを設けている。共通教育センターは共通基礎教育系、共通専門教育系、語学系、保健体育系のいわゆる教養・総合教育を受け持つセンターである。

これまで、共通教育センターは、美術学部と造形表現学部が2つの異なるキャンパスに位置することから、各キャンパスに置かれていた。2008年度より共通教育センター連絡会を設け、双方の学生が原則として全ての共通教育科目（オープン科目、教職課程関連科目を含む）を対象に、他学部の履修を可能とした。両キャンパスの学事日程、キャンパス間の移動距離、類似科目の点検、履修科目登録の制限などの検討課題があるが、教育研究組織の他、運用においても教育目標を実現に向けて取り組んでいる。

また大学に附置芸術人類学研究所を置いているが、これについては「Ⅱ-六. 研究活動と研究環境」で記述している。



(図Ⅱ-二-1 教育目標と教育研究組織との対応)

Ⅱ-二. 教育研究組織

学部	学科等	入学定員(名)		収容定員(名)		
美術学部	絵画学科	日本画専攻	30	116		
		油画専攻	190	130	722	496
		版画専攻		30		110
	彫刻学科		30		120	
	工芸学科		60		240	
	グラフィックデザイン学科		180		652	
	生産デザイン学科	プロダクトデザイン専攻	85	45	310	150
		テキスタイルデザイン専攻		40		160
	環境デザイン学科		80		300	
	情報デザイン学科		120		480	
芸術学科		55		220		
造形表現学部	造形学科		40		160	
	デザイン学科		100		400	
	映像演劇学科		60		240	
合 計			1,000		3,844	

(表Ⅱ-二-1 学部の入学定員と収容定員・2007年度)

研究科	課程	専攻	入学定員(名)	収容定員(名)
美術研究科	博士前期課程(修士課程)	絵画専攻	60	120
		彫刻専攻	12	24
		工芸専攻	10	20
		デザイン専攻	45	80
		芸術学専攻	7	14
	博士後期課程	美術専攻	7	21
合 計			141	279

(表Ⅱ-二-2 大学院美術研究科の入学定員と収容定員・2007年度)

